

## お知らせ

6月4日に第2回クリエイティブサロンを開催しました。

6月4日に第2回クリエイティブサロンを開催しました。今回は、作家の高殿円先生、早川書房ミステリマガジン編集長の小塚麻衣子先生にご登壇いただき、対談形式で出版界についてお話いただきました。実際に活躍されているお2人の貴重なお話を聞くべく、出版関係の仕事に就きたい学生さんも多数来られ、熱心に聞き入っていらっしゃいました。他では聞けないような裏話的エピソードもたくさん飛び出して、大いに盛り上がりました。6月5日付の神戸新聞や、学院HPでもその様子が掲載されていますので、ごらんください。そうした記事には載らない部分（かつ、ここに書けること）で特にわたしの印象に残ったのは、「京極夏彦先生のために新たなのりが開発された」という話。京極先生といえば、あの、読めば腕の筋肉が鍛えられそうな、度肝を抜かれる分厚さの本が思い浮かびます。それが形になって、店頭に並び、われわれの度肝を抜くまでには、本当にいろいろな人の努力があるのですね。（そして京極先生の才能は出版以外の業界にも影響を及ぼしているのですね。）

